

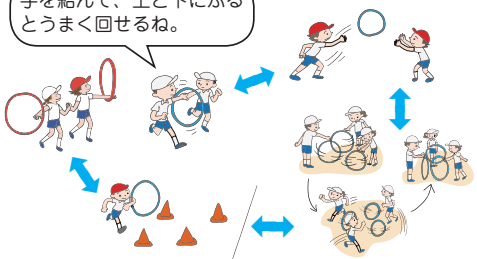
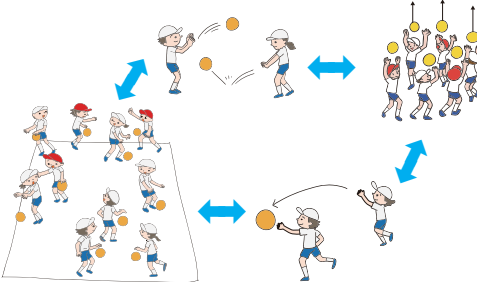
5 本時の目標と展開

【第3学年「多様な動きをつくる運動」 6/15時間】

(1) 本時の目標

- 体を移動する動きや、用具を操作する動きなどを組み合わせた動きができるようにする。(運動)
- 多様な動きをつくる運動に進んで取り組み、きまりを守って運動をすることができるようにする。(態度)
- 友達のよい動き方を見付け、自分の動きに取り入れることができるようにする。(思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、運動についての思考・判断を主として評価する。

分	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価(☆)
はじめ5分	1 場や用具の準備をする。 2 本時の学習課題を確認する。 輪やポールを使った組み合わせの運動に挑戦しよう。	・活動の場や用具の準備をきちんとすることで、けがを防げることを知らせる。 ・これまでの、多様な動きを想起させ組み合わせることで、児童が少し難しい課題へ挑戦する意欲をも。
なか35分	3 運動の行い方や約束を知る。 4 輪を使った組み合わせの運動をする。 ・輪回し (一人で、二人で手をつないで) ・輪回しジグザグ走 (一人で、二人で手をつないで) ・輪でキャッチボール ・輪回しキャッチ 手を結んで、上と下にふるとうまく回せるね。  5 ポールを使った組み合わせの運動をする。 ・二人組でのボールの投げ方捕り方 ・グループでボールキャッチ ・ドリブル鬼ごっこ ・二人組ボール投げキャッチ 	・安全に運動遊びができるよう約束を徹底する。 ・動きのよい児童やペア、グループを取り上げ、どこに気を付ければよいのか発問し、動きのこつを他の児童にも伝える。 ・運動の行い方や手順が分からない児童には、運動の内容を図で示したり、順番や回数などを手順表を使って示したりする。(特別な支援を要する児童への手立ての工夫) 二人でタイミングを合わせて輪を回してみよう。 ○○さん上手だね。輪を回した後にすぐに走り出してるね。みんなもまねてやってみよう。 ・児童の様子をよく観察し、動きが雑にならないように言葉がけをする。 ・一つの動きにとらわれてスムーズに動けない児童には、組み合わせている動きに意識を向けるよう言葉がけをする。 ・二人組のボールキャッチでは、二人でよく相談しながら、タイミングを合わせるよう助言する。 ポールも、回りもよく見て動こうね。相手が動くのを考えて、ボールをこうどいいところに投げよう。 ・友達のよい動きが見つからない児童には動きのよい児童の動き方に着目するよう言葉がけしたり、真似したりしてやってみよう促す。
まとめ5分	6 学習のまとめをする。 ・学習の振り返りをする。 ・よい動きを確認し、やってみる。 ・整理運動と片付けをする。	☆友達のよい動き方を見付け自分の動きに取り入れている。 【運動についての思考・判断②】 (観察・学習カード) ・よい動きを確認する場や、自分や友達の動き方でよかったことを発表したり、学習カードに記入したりする場を設ける。 ・よい動きを全体で確認する。